I·O DATA

DVDRW-ABシリーズ DVD+RW/+R セットアップガイド

109944-02

本製品のセットアップ作業を説明しています。手順にしたがって作業を行ってください。
本製品のその他の基本操作、Q&Aなどについては、添付CD-ROM内のオンラインユーザーズガイド（PDF）をご覧ください。

オンラインユーザーズガイドのインストール／起動方法

①添付CD-ROMをドライブに挿入します。
②メニューから[オンラインユーザーズガイド]ボタンをクリックします。

●パソコンにインストールしてから起動する場合
③[パソコンにインストールする]ボタンをクリックしてパソコンにインストールします。
④以下の順に起動します。[スタート]➡[プログラム]➡[I-O DATA]➡[オンラインユーザーズガイド]➡[××××××.pdf]（×××××は製品名が表示されます。）

●CD-ROMから直接起動する場合
③[CD-ROMから起動する]ボタンをクリックします。

※オンラインマニュアル以外でも弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/support/）にてQ&Aを用意しております。本製品が正常に動作しない場合はそちらもご覧ください。

※図は実際とは多少異なる場合があります。

1 内容物を確認しよう

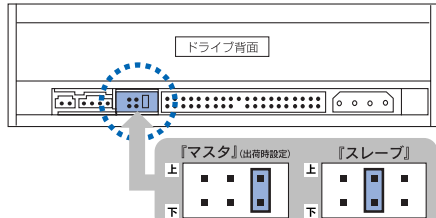
- ☐ ドライブ（1台）
- ☐ DVD Pro ツールズコレクション（CD-ROM：1枚）
- ☐ 取り付けネジ（4本）
- ☐ オーディオケーブル（1本）
- ☐ アイ・オー・データ ロゴシール（1枚）※ドライブ前面にお貼りください。
- ☐ はじめにお読みください（1枚）
- ☑ DVD+RW/+Rセットアップガイド（本書）
- ☐ ハードウェア保証書（1枚）

2 スイッチを設定する

本製品を取り付ける前にスイッチを設定する必要があります。ここでは、お使いの環境に合わせてスイッチを設定します。

本製品を『マスタ』（出荷時設定）または『スレーブ』のどちらかに設定します。

『マスタ』『スレーブ』以外の位置にピンをささないでください。

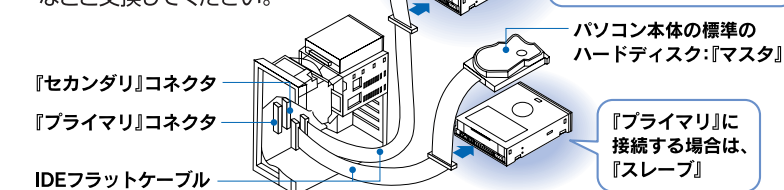
●マスタ、スレーブについて

注意 PC98-NXシリーズをご使用の場合のご注意
セカンダリスレーブに接続するとパソコンが正常に起動しない場合がありますので、本製品をプライマリスレーブまたはセカンダリマスタで使用してください。

IDEの基礎知識

本製品を取り付ける場所を決めてから、左記の通り設定してください。

●本製品はIDE機器としてパソコン本体に接続します。
“パソコンに接続できるIDE機器は最大4台まで”
■パソコン本体には、以下の2つのコネクタがあります。
『プライマリ』(PRIMARY) ➡ IDE1の場合があります。
『セカンダリ』(SECONDARY) ➡ IDE2の場合があります。
■『プライマリ』『セカンダリ』のそれぞれに、IDEフラットケーブル(次ページ参照)を使用して、以下の２台ずつ、計４台までのIDE機器を接続することができます。
『マスタ』(MASTER) ／『スレーブ』(SLAVE)

●接続例
一般的なパソコンでの接続例です。空いているコネクタに接続するか、すでにお使いのCD-ROMドライブなどと交換してください。

『セカンダリ』に…
●2台接続する場合
どちらかを『マスタ』
もう一方を『スレーブ』
●本製品のみ接続する場合
『マスタ』

パソコン本体の標準のハードディスク:『マスタ』
『プライマリ』に接続する場合は、『スレーブ』
『セカンダリ』コネクタ
『プライマリ』コネクタ
IDEフラットケーブル

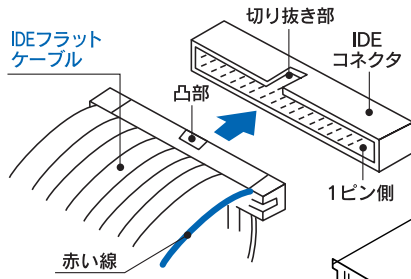
3 取り付ける

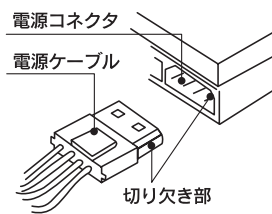
❶ パソコンと周辺機器の電源を切り、パソコンの電源ケーブルをコンセントから抜きます。

❷ パソコンのルーフカバー、5インチベイのカバーを外し、本製品を取り付けます。
パソコンのルーフカバーの外し方、5インチベイのカバーの外し方、取り付け方はパソコンの取扱説明書をご覧ください。

❸ 各ケーブルを接続します。
❶ **IDEフラットケーブル**
パソコン本体から出ているIDEフラットケーブルを、本製品のIDEコネクタに接続します。プライマリ（1系列目）またはセカンダリ（2系列目）を充分確認し、接続してください。
❷ **電源ケーブル**
パソコン本体から出ている電源ケーブルを本製品の電源コネクタに接続します。

注意 ケーブルを差し込むときは、ケーブルの向きにご注意ください。
逆向きだと差し込めないようになっていますが、無理に差し込もうとすると、コネクタを破損する恐れがあります。コネクタを抜き差しする場合は、ピンが折れないようにコネクタをまっすぐにして行ってください。ピンが折れると正常に動作しません。

IDEフラットケーブル
IDEフラットケーブルのコネクタの中央にある凸部が、IDEコネクタの切り欠き部と合うように挿入します。(中央の凸部がない場合は、赤い線とコネクタの1ピンの向きを合わせてください。)

電源ケーブル
電源ケーブルのコネクタの切り欠き部と、電源コネクタの切り欠き部が合うように挿入します。

電源コネクタ
電源ケーブル
切り欠き部

❹ 添付の取り付けネジで本製品をとめます。
お使いの機種によって、ネジ穴の場所や数が異なります。詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

❺ パソコンのルーフカバーを取り付け、ケーブルや周辺装置を元に戻します。

本製品で音楽CDを聞く方法
【デジタル再生する】
ユーザーズガイドのミニ知識をご覧ください。
【アナログ再生する】
添付のオーディオケーブルで、本製品背面のオーディオコネクタとサウンドボードの「CD IN」コネクタまたはパソコン本体のオーディオコネクタに接続してください。(オーディオケーブルはお使いのサウンドボードやパソコンのオーディオコネクタの形状に合ったものをご使用ください。)すでにお使いのCD-ROMドライブと本製品を併用する場合、オーディオケーブルは、すでにお使いのCD-ROMドライブか本製品のどちらか一方の接続となります。

4 確認する

●本製品が正常に使えるかを確認します。

パソコンを起動して、[マイコンピュータ]を開き、CD-ROMのアイコンが追加されていることを確認します。アイコンが追加されていれば、本製品を使うことができます。

追加されたアイコン
▼Windows XPの場合
▼Windows XP以外の場合
CD-ROM (E:)

こんな時には…

パソコンが起動しない場合
本製品の「マスタ」「スレーブ」設定をご確認ください。

アイコンが追加されていない場合
●[表示]メニューの[最新の情報に更新]をクリックしてみてください。
●ケーブルの接続が正しく行われていることをご確認ください。
（パソコンの電源を切り、再度ケーブルを抜き差ししてください。）

裏へ続く ➡

5 B's Recorder GOLD5 BASIC+ B's CLiP5をインストールする

※本製品に添付の「B's Recorder GOLD5」は、「B's Recorder GOLD5 BASIC」ですが、これ以降は「B's Recorder GOLD5」と記述します。

●インストール方法

❶ 他のライティングソフトがインストールされている場合は、削除してください。
また、CD-ROMドライブを高速化するソフトウェアがインストールされている場合も削除してください。

❷「DVD Pro ツールズコレクション」CD-ROMをセットします。

❸ 自動でメニューが表示されますので、インストールしたいソフトウェアのボタンをクリックします。
自動でメニューが表示されない場合は、CD-ROMの「Autorun.exe」を起動してください。

❹ あとは、画面の指示にしたがってインストールしてください。
※インストール中、右記のシリアルナンバーが自動的に入力されます。

シリアル番号
●GOLD5 BASIC：
●CLiP5　　　：

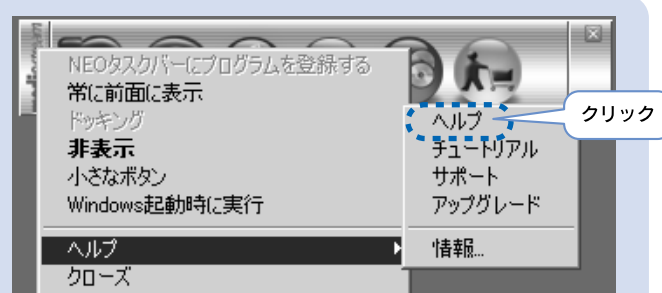
注意 B's Recorder GOLD5 + B's CLiP5を使用する際のご注意

使用方法の詳細についてはオンラインマニュアルをご覧ください。各ソフトウェアをインストール後、[スタート]メニューの[B.H.A]内に登録されます。
●省電力機能を無効(オフ)にしてください。無効(オフ)にしないで書き込みを行うと、書き込みに失敗する場合があります。
●マルチセッション(MULTISESSION：セッション単位でデータを追記することです。)記録したディスクの使用済み容量を知りたい場合は、「B's Recorder GOLD5」の「メディア」メニューの「情報」を選択してください。エクスプローラの「ファイル」メニューの「プロパティ」を選択すると表示される“使用領域”では、OSの仕様により最後のセッションの容量しか表示されません。
●一度でも書き込みに失敗したDVD+R/CD-Rディスクは使用しないでください。正常に動作しない場合があります。また、書き込みに失敗したDVD+RW/CD-RWディスクは「B's Recorder GOLD5」を使用して、いったんデータを消去した後にご利用ください。
●いったん、「B's Recorder GOLD5」と本製品で書き込みを行ったディスクに追記する場合は、必ず「B's Recorder GOLD5」と本製品を使用してください。また、いったん「B's CLiP5」と本製品で書き込みを行ったディスクに追記する場合は、必ず「B's CLiP5」と本製品を使用してください。
（一度、B's CLiP5で使用したDVD+RW/CD-RWディスクをB's Recorder GOLD5で書き込む場合は、標準消去で完全に消去してください。）
●ハードディスクにいったんデータを書き込んでから、ディスクへの書き込みを行う場合、書き込むファイルと同じサイズの空き容量がハードディスク上に必要です。
●エラー回避機能のチェックを外さないでください。
（ドライブによって機能の名称が異なります。）
《B's Recorder GOLD5の場合》
「環境設定」→「ドライブ設定」→「高度なドライブ設定」で、“転送速度エラー回避機能”をONにしてください。
※エラー回避機能が常時ONになっているドライブでは、「高度なドライブ設定」のボタンは表示されません。
●**CD-ROMドライブを読み込み元ドライブとして使用する場合の注意**
B's Recorder GOLD5が対応していないCD-ROMドライブ※の場合は、読み込み元ドライブ（コピー元）としてご利用いただくことができません。その場合は本製品を読み込み元ドライブとしてご利用ください。
※㈱ビー・エイチ・エーへ対応の有無をお問い合わせください。
●音楽データを書き込んだCD-R/RWディスクを再生するには、再生するCDプレーヤーがCD-R/RWディスクに対応している必要があります。
●**HDDバックアップ機能について**
バックアップしたディスクを使用してHDDを元に戻すときは、本製品以外のMS-DOSで認識可能なCD-ROMドライブが必要です。
DVD+R/RWでバックアップした場合は、DVD+R/RWに対応したMS-DOSで認識可能なDVD-ROMドライブが必要です。

6 neoDVD standard をインストールする

注意 「neoDVD standard 4.0」の使用方法については、ヘルプをご覧ください。

●ヘルプの見方
neoDVDを起動し、neoタスクバーを右クリックして表示されるメニューから[ヘルプ]をクリックします。

●セットアップガイド
Windows XPでお使いの場合は、DVDディスクに書き込みした後、本製品のアイコンの表示が「CDドライブ」と変わる場合があります。アイコンの表示が変わっても本製品の使用には問題ありません。(いったんディスクを挿入し取り出す、または、パソコンを再起動すると元に戻ります。)

●インストール方法

❶ 添付のCD-ROMをセットします。
※Windows XP、Windows 2000の場合は、管理者権限でログインしてください。

❷ 自動でメニューが表示されますので、インストールしたいソフトウェアのボタンをクリックします。
自動でメニューが表示されない場合は、CD-ROMの “autorun.exe” を起動してください。

❸ あとは画面の指示にしたがってインストールします。
※インストール中、右記のCD-Keyが自動的に入力されます。

CD-Key

7 PowerDVD™をインストールする

●DVDビデオを見るには、添付の「PowerDVD」などのDVDデコーダが必要です。

注意 PowerDVDを使用する際のご注意
●本製品のリージョンコードは、出荷時状態で“2”に設定されています。リージョンコードを変更した場合は、保証致しかねます。
●本製品添付のPowerDVDはドルビーヘッドホンに対応しておりません。

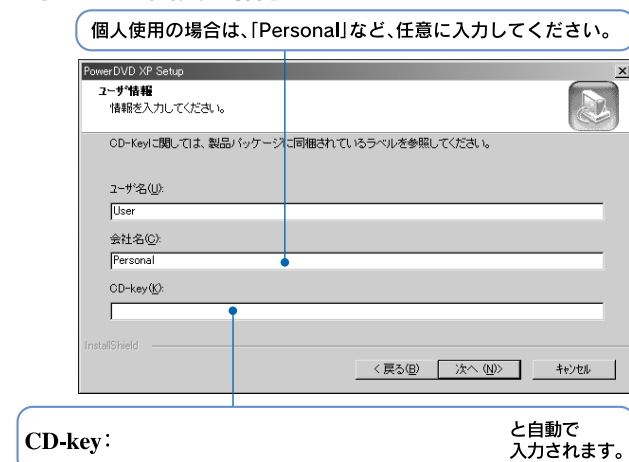
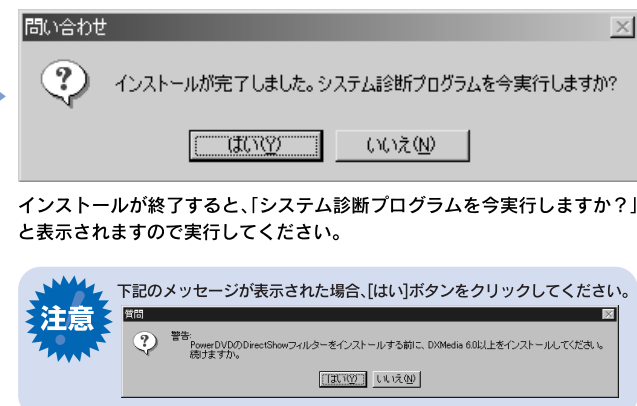
●PowerDVDをインストールする

■Windows XPやWindows 2000で使う場合は、管理者権限でログインしてください。

❶ 使用中のアプリケーションやウィルス対策などの常駐プログラムがある場合は終了してください。

❷ 添付のCD-ROMをセットすると、自動でメニューが表示されますので、PowerDVDのボタンをクリックします。
自動でメニューが表示されない場合は、CD-ROMの “autorun.exe” を起動してください。

❸ あとは画面の指示にしたがってください。

個人使用の場合は、「Personal」など、任意に入力してください。

CD-key：　　　　と自動で入力されます。

インストールが終了すると、「システム診断プログラムを今実行しますか？」と表示されますので実行してください。

注意 下記のメッセージが表示された場合、[はい]ボタンをクリックしてください。
質問
警告:
PowerDVDのDirectShowフィルターをインストールする前に、DXMedia 6.0以上をインストールしてください。続けますか。
はい(Y)　いいえ(N)

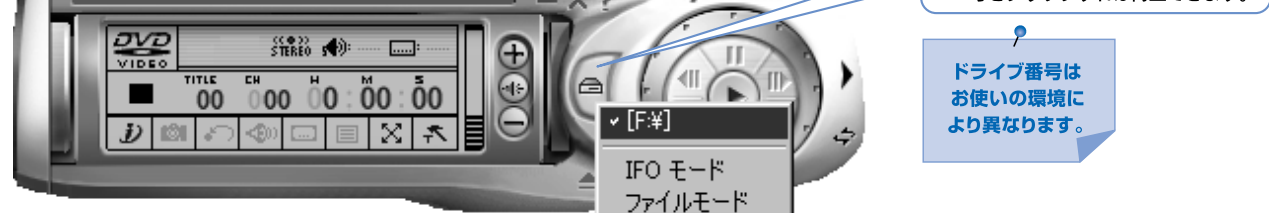
●DVDビデオを見る

本製品にお手持ちのDVDビデオを挿入すると、自動的に再生されます。
これで再生できない場合は、次の方法で再生しましょう。

❶ [スタート] ➡ [プログラム] ➡ [CyberLink PowerDVD] ➡ [PowerDVD]をクリックします。

❷ をクリックして表示されたメニューから、本製品のドライブ番号をクリックすれば再生できます。

ドライブ番号はお使いの環境により異なります。

[F:¥]
IFO モード
ファイルモード

●操作パネルの説明

■操作パネル各ボタンの役割です。

注意 詳しい使用方法は、ヘルプをご覧ください。